

## 令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	43	ステップハウス運営事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(4)-ア			
担当部課名	子ども生活福祉部青少年・子ども家庭課	事業実施(予定)年度	H24 ~ R3 年度	沖縄振興基本方針該当箇所	安全・安心に暮らせる地域づくり Ⅲ-4		
事業内容	一時保護後も地域で自立した生活を送ることができるよう心のケアや自立に向けた準備等を行う中間施設(ステップハウス)を設置し、DV被害者等の自立に向けた支援を実施する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(    年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(    )						
予算額・執行額 【単位:千円】			R1年度	R1年度(繰越)	R2年度	R2年度(繰越)	R3年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	8,966		8,605		8,369
		(b) 予算現額	8,966		8,605		8,369
		(c) 増減額(b-a)	0		0		0
		(d) 前年度繰越額	0		0		0
		A. 計(b+d)	8,966		8,605		8,369
	B. 執行済額		6,546		6,827		5,164
	うち交付金充当額		5,237		5,461		4,132
	C. 次年度繰越額		0		0		0
	執行率(%) (B/A)		73.0%		79.3%		61.7%
予算の状況の説明		・予算額はステップハウス運営のための委託料を計上したところであり、支援が必要な世帯数が予定を下回ったため、執行率は61.7%となった。					
活動目標(指標)及び進捗状況	R3活動目標(指標)		進捗状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	支援世帯数	目標	6世帯	6世帯	5世帯	5世帯	
		実績	3世帯	3世帯	3世帯	3世帯	
進捗状況説明	・DV被害者のうち一時保護後も支援が必要な方に対する支援策の一つとして行っている。令和3年度は、本人の選択で実家住まいや婦人保護施設への入所を選択する方もいたため、目標値を下回った。						
成果目標(指標)及び達成状況	R3成果目標(指標)		基準値(〇〇年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(〇〇年度)
	本年度に支援期間が満了した世帯のうち自立した世帯の割合	目標		100%(3世帯)	100%(3世帯)	100%(3世帯)	
		実績		100%(3世帯)	100%(3世帯)	100%(3世帯)	
	達成状況説明	・支援期間が満了した世帯3世帯のうち、自立につながった世帯は3世帯であった。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・本県のDV相談件数等は全国上位にあるため、DV被害者の一時保護所退所後の自立支援策として更なる充実を図っていく必要がある。</p>	<p>・女性相談所等のDV関係機関で連携を図りながら、ケースに応じた支援内容の検討・充実を図る。</p>
<b>今後の取り組み方針</b>		
<p>・引き続きDV被害者のケースに応じた支援内容の検討・充実を図っていく。</p>		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)							
	総事業費	交付対象 事業費	うち交付金 充当額	うち県 負担金	うち市町村 負担金	その他	交付対象外 経費
	5,164	5,164	4,132	1,032	0	0	0
<pre> graph LR     A[沖縄県 交付対象 事業費 5,164千円] --&gt; B[委託料 5,164千円]     B --&gt; C[社会福祉法人 沖縄県社会福祉事業団 5,164千円]     subgraph Note     D(DV被害者に対する自立支援に係る 委託業務)     end     </pre>							
資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点検項目		評価に関する説明			
	○	支出先の選定方法は妥当か。		<p>○委託事業者は、沖縄県ステップハウス運営事業事業実施要綱に基づき、沖縄県内でDV被害者に対する支援に実績がある団体等や本事業を効果的に実施できる体制等を勘案した上で選定しており、妥当であった。</p> <p>○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認し、適正であった。</p>			
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。					
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。					
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。					
○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。						

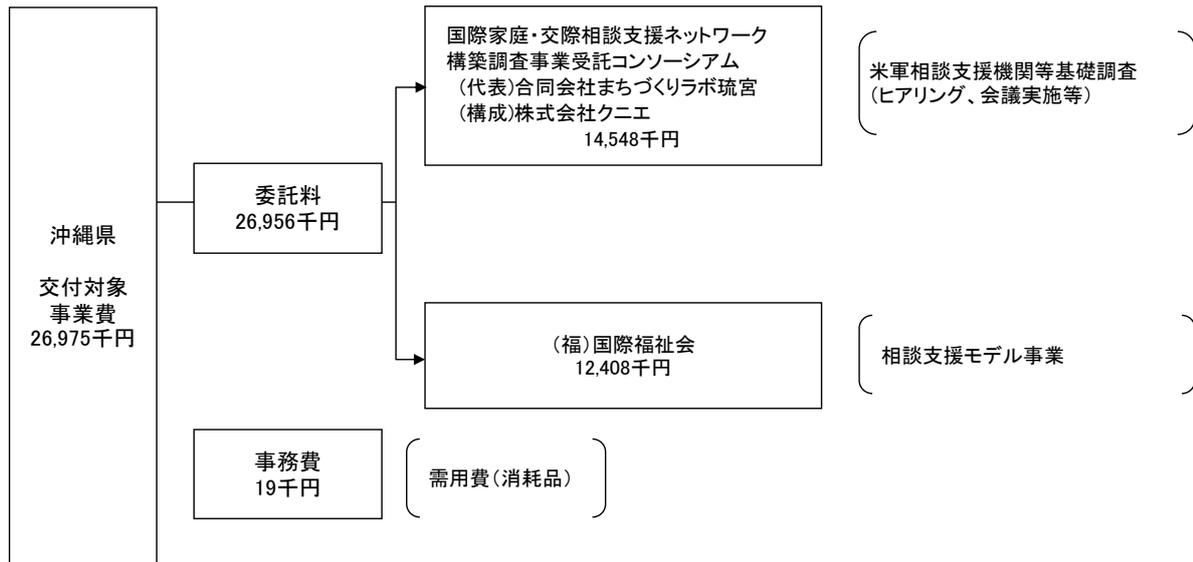
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	49	国際家庭相談ネットワーク構築モデル事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(4)-ア			
担当部課名	子ども生活福祉部青少年・子ども家庭課	事業実施(予定)年度	R2 ~ R3 年度	沖縄振興基本方針該当箇所	安全・安心に暮らせる地域づくり III-4		
事業内容	令和2年度の基本調査を踏まえ日米関係機関の連携スキームの検討や支援フロー、マニュアル等を作成することで、日本と米軍の関係機関の連携による相談支援体制の構築を目指す。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(    年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(    )						
予算額・執行額 【単位:千円】		R1年度	R1年度(繰越)	R2年度	R2年度(繰越)	R3年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額			29,503		29,283
		(b) 予算現額			29,503		29,283
		(c) 増減額(b-a)			0		0
		(d) 前年度繰越額			0		0
		A. 計(b+d)			29,503		29,283
	B. 執行済額				24,578		26,975
	うち交付金充当額				19,663		21,580
	C. 次年度繰越額				0		0
	執行率(%) (B/A)				83.3%		92.1%
予算の状況の説明		予算額のうち主な経費は調査事業及び相談モデル事業のための委託料を計上したところ。新型コロナウイルス感染拡大に伴う事業実施方法の変更(対面ヒアリング⇒オンラインヒアリング・文書会議等)等により実績が下がったため、執行率は92.1%となった。					
活動目標(指標)及び進捗状況	R3活動目標(指標)		進捗状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	基地内相談支援機関等との連携可能性の検討	目標			基礎調査実施	連携に向けた取組	
		実績			調査済み	取組実施済み	
	米軍関係の家庭問題や交際トラブル等に関する相談支援の実施	目標			相談実施	相談実施	
		実績			相談実施済み	相談実施済み	
進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・連携に向けた取組は、新型コロナウイルス感染拡大防止に留意しながらオンライン会議やヒアリング等を実施し目標を達成した。</li> <li>・相談支援については、北谷町役場内に相談所を設置して事業を実施し目標を達成した。</li> </ul>						
成果目標(指標)及び達成状況	R3成果目標(指標)		基準値(〇〇年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(〇〇年度)
	米軍相談支援連携フロー等の作成	目標			基礎調査実施	連携フロー等作成	
		実績			実施済み	フロー等作成	
	相談支援件数	目標			80件	80件	
		実績			10件	207件	
	達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染拡大等の影響はあったものの、会議の実施やヒアリング等により概ね計画通りに事業を実施し目標を達成した。</li> <li>・北谷町役場内に相談所を設置し、年度当初から取組を実施し、相談支援件数の目標を達成することができた。</li> </ul>					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>①新型コロナウイルス感染拡大等の影響はあったものの、会議の実施やヒアリング等により概ね計画通りに事業を実施し目標を達成した。</p> <p>②北谷町役場内に相談所を設置し、年度当初から取組を実施し、相談支援件数の目標を達成することができた。</p>	<p>①これまでの調査結果やヒアリング結果等を活用しながら、米軍関係機関との意見交換の機会を増やす等連携の定着に取り組む必要がある。</p> <p>②R3年度末に相談所を設置し、年度当初から速やかに事業取り組むことができた。引き続き相談者に配慮した環境作りに努める必要がある。</p>
今後の取り組み方針		
<p>①これまでの調査結果やヒアリング結果等を活用しながら、米軍関係機関との意見交換の機会を増やす等連携の定着に取り組む必要がある。</p> <p>②相談者のプライバシーに配慮しながら相談事業を実施し、課題の抽出や解決方法の検討などを行う。</p>		

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	うち交付金充当額	うち県負担金	うち市町村負担金	その他	交付対象外経費
26,975	26,975	21,580	5,395	0	0	0



資金の 使途の 流れ、 費目・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○調査委託事業者は、類似事業の実績や本事業を効果的に実施できる体制等を勘案した上で選定しており、妥当であった。</p> <p>○相談モデル委託事業者は、相談業務の実績や効果的な事業実施体制等を勘案した上で選定しており、妥当であった。</p> <p>○費目・使途については、事業報告書等を検査し、適正である事を確認した。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

## 令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	197	離島空港交流拠点活性化事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(4)-イ			
担当部課名	土木建築部	空港課	事業実施(予定)年度	R2 ~ R3 年度	沖縄振興基本方針該当箇所	災害に強い県土づくりと防災体制の強化 Ⅲ-9	
事業内容	旅客者の利便性向上の為、久米島空港ターミナルビルの機能向上改修工事を行う。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(令和4年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )						
予算額・執行額 【単位:千円】		R1年度	R1年度(繰越)	R2年度	R2年度(繰越)	R3年度	
	予算の状況	(a)当初予算額			0		25,000
		(b)予算現額			10,000		25,000
		(c)増減額(b-a)			10,000		0
		(d)前年度繰越額					
		A.計(b+d)			10,000		25,000
	B.執行済額				6,254		21,505
	うち交付金充当額				5,003		17,204
	C.次年度繰越額				0		0
	執行率(%) (B/A)				62.5%		86.0%
予算の状況の説明		執行率は86%であり、主に委託費の執行残が発生したことによるものである。					
活動目標(指標)及び進捗状況	R3活動目標(指標)		進捗状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	久米島空港ターミナルビル機能向上改修工事の完了。		目標			工事完了	
			実績			工事完了	
進捗状況説明	令和3年度に、久米島空港ターミナルビル機能向上改修工事が完了し、活動目標を達成した。						
成果目標(指標)及び達成状況	R3成果目標(指標)		基準値(〇〇年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(R4年度)
	久米島空港ターミナルビル機能向上改修工事の完了。(100%)		目標	-	実施設計完了	工事完了	-
			実績	-	実施設計完了	工事完了	-
	【R4 成果目標】 空港利用者の満足度向上(80%以上)		目標				旅客満足度80%以上
	達成状況説明	R3年度の成果目標(指標)は達成した。改修工事完了後の空港利用者の利便性向上等に係る満足度について、アンケートを実施する。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>新型コロナウイルス感染拡大による来島自粛や、設置機器の納期遅延等があり、1か月の工期延長となったが、施工に係る工事関係資料の早めの承諾、関係機関と蜜に調整をおこなった結果、年度内での工事完了することができた。</p>	<p>離島工事においては、左記の留意点があるため、年度内で工事が完了できるよう、工事業者へのヒアリングを行い、実勢にあった工事額の積算を行う。また入札不調・不落や着手後の不測の事態に備えるため、発注手続きを早期に行う。</p>
<b>今後の取り組み方針</b>		
<p>・改修工事後の空港利用者の利便性の向上等に係る満足度について、空港利用者ニーズの把握・分析を行うため、アンケートを実施する。</p>		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)						
総事業費	交付対象事業費	うち交付金充当額	うち県負担金	うち市町村負担金	その他	交付対象外経費
21,505	21,505	17,204	4,301	0	0	0
<pre> graph LR     A[沖縄県 交付対象事業費 21,505千円] --&gt; B[工事請負費 20,118千円]     A --&gt; C[委託業務費 1,232千円]     A --&gt; D[旅費 155千円]     B --&gt; E[桐和空調設備(株) 久米島空港ターミナルビル機能向上改修工事 20,117千円]     C --&gt; F["(株)都市建築設計 久米島空港ターミナル機能向上改修工事監理業務 1,232千円"]           </pre>						
資金の 用途の 流れ、 費目 ・ 評価	評価	点検項目		評価に関する説明		
	○	支出先の選定方法は妥当か。		<p>○工事業者、委託業者は入札により決定しており、妥当であったと考えている。</p> <p>○費目・用途については事業目的に限定して必要なものに限定している</p>		
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。				
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。				
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。				